

健全化比率DB (木更津市)

『健全化比率DB』は、健全化比率の基礎データからの分析、他団体との比較、独自比率の算定などができる、市区町村財政分析データベースです。

「*」印は、財政統計研究所の算定データです。

資料作成/財政統計研究所		データ年度 選択団体名	2007(H19)年 木更津市	2008(H20)年 木更津市	2009(H21)年 木更津市	2010(H22)年 木更津市	2011(H23)年 木更津市
健全化判断比率一覧	1-001	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)	5.95	3.54			
	1-002	実質赤字比率 *	6.24	3.70			
	1-003	早期健全化基準(11.25～15%)	-12.33	-12.32			
	1-004	(参考)公営比率 *	5.12	3.58			
	1-005	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-)	5.37	3.74			
	1-006	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)	11.07	7.12			
	1-007	連結実質赤字比率 *	11.60	7.44			
	1-008	早期健全化基準(16.25～20%)	-17.33	-17.32			
	1-009	実質公債費比率(3ヵ年平均)	11.15	10.69			
	1-010	実質公債費比率 *	10.00	12.12			
	1-011	補正単年度実質公債費比率(本年度)	10.56	12.75			
	1-012	将来負担比率	172.8	125.7			
	1-013	将来負担比率 *	182.3	132.1			
	1-014	修正将来負担比	160.2	117.5			
	1-015	補正修正将来負担比率	169.1	123.6			
	1-016	参考資料 *	4.61	4.29			
	1-017	臨時財政対策債発行可能額(本年度)/標準財政規模(本年度)	11.86	12.41			
	1-018	元利償還金等に係る基準財政需要額算入額(本年度)/標準財政規模(本年度)	-1.93	5.65			
	1-019	標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)	-6.45	1.12			
	1-020	補正標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)	1.49	2.28			
	1-021	人口増減率(5 (本年度.3.31住基人口/5年前.3.31住基人口)	-0.43	-0.43			
	1-022	人口増減率(5 (国調人口/前回・国調人口)	都市Ⅲ-1	都市Ⅲ-1			
	1-023	市町村類型等 (前年度市町村類型等)	5.95	3.53			
	1-024	財政統計研究所 *	11.06	7.12			
	1-025	(切捨処理後の比率)	11.1	10.6			
	1-026	実質公債費比率(3ヵ年平均)	172.7	125.6			
	1-027	将来負担比率	-	-			
	1-028	実質赤字比率	-	-			
	1-029	連結実質赤字	11.1	10.6			
	1-030	総務省 公表比率	172.7	125.6			
実質赤字比率	2-031	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	切捨て	5.95	3.53		
	2-032	実質赤字比率(総務省)	切捨て	-	-		
	2-033	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	四捨五入	5.95	3.54		
	2-034	補正実質黒字比率(+) 又は 補正実質赤字比率(-) *	四捨五入	6.24	3.70		
	2-035	早期健全化基準(11.25～15%)		-12.33	-12.32		
	2-036	実質赤字額又は黒字額 (一が赤字) A (本年度分)		1,295,823	774,791		
	2-037	標準財政規模(臨時財政対策債発行可) B=C+D (本年度分)		21,772,892	21,894,783		
	2-038	標準財政規模(臨時財政対策債発行可) C (本年度分)		20,769,681	20,955,125		
	2-039	臨時財政対策債発行可能額 D (本年度分)		1,003,211	939,658		
	2-040	実質赤字比率の算定に用いた、一般	一般会計等1	会計名	一般会計	一般会計	
	2-041	会計等の会計名と実質収支額 (1～	一般会計等1	実質収支額	1,295,823	774,791	

2-042	16) 実質赤字比率=A/B*100が負数の場合における、A/B*100の絶対値	一般会計等2	会計名					
2-043		一般会計等2	実質収支額					
2-044		一般会計等3	会計名					
2-045		一般会計等3	実質収支額					
2-046		一般会計等4	会計名					
2-047		一般会計等4	実質収支額					
2-048		一般会計等5	会計名					
2-049		一般会計等5	実質収支額					
2-050		一般会計等6	会計名					
2-051		一般会計等6	実質収支額					
2-052		一般会計等7	会計名					
2-053		一般会計等7	実質収支額					
2-054		一般会計等8	会計名					
2-055		一般会計等8	実質収支額					
2-056		一般会計等9	会計名					
2-057		一般会計等9	実質収支額					
2-058		一般会計等10	会計名					
2-059		一般会計等10	実質収支額					
2-060		一般会計等11	会計名					
2-061		一般会計等11	実質収支額					
2-062	一般会計等12	会計名						
2-063	一般会計等12	実質収支額						
2-064	一般会計等13	会計名						
2-065	一般会計等13	実質収支額						
2-066	一般会計等14	会計名						
2-067	一般会計等14	実質収支額						
2-068	一般会計等15	会計名						
2-069	一般会計等15	実質収支額						
2-070	一般会計等16	会計名						
2-071	一般会計等16	実質収支額						
2-072		A	一般会計等	合計(1~16)	1,295,823	774,791		
連結実質赤字比率	3-073	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		切捨て	11.06	7.12		
	3-074	連結実質赤字比率(総務省)		切捨て	-	-		
	3-075	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	11.07	7.12		
	3-076	補正連結実質黒字比率(+) 又は 補正連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	11.60	7.44		
	3-077	早期健全化基準(16.25~20%)			-17.33	-17.32		
	3-078	公営会計連結黒字比率(+) 又は 公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	5.12	3.58		
	3-079	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	5.37	3.74		
	3-080	連結実質赤字額又は黒字額 (一が赤字)	A	(本年度分)	2,410,134	1,559,458		
	3-081	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	B=C+D	(本年度分)	21,772,892	21,894,783		
	3-082	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	C	(本年度分)	20,769,681	20,955,125		
	3-083	臨時財政対策債発行可能額	D	(本年度分)	1,003,211	939,658		
	3-084	連結実質赤字比率の	1	一般会計等	合計	1,295,823	774,791	
	3-085	算定に用いた、会計	2	公営事業1	事業区分	①	①	
	3-086	名と実質収支額また	3	公営事業1	会計名	国民健康保険特	国民健康保険特別会計	
	3-087	は資金不足・剰余額	4	公営事業1	実質収支額	8,573	120	
	3-088	(1~116) 連結実	5	公営事業2	事業区分	⑤	③	
3-089	質赤字比率	6	公営事業2	会計名	老人保健特別会	後期高齢者医療特別会計		
3-090	=A/B*100が負数の	7	公営事業2	実質収支額	5,774	2,926		
3-091	場合における、	8	公営事業3	事業区分	②	⑤		
3-092	A/B*100の絶対値	9	公営事業3	会計名	介護保険特別会	老人保健特別会計		

3-093	10	公営事業3	実質収支額	75,863	7,701		
3-094	11	公営事業4	事業区分	⑦	②		
3-095	12	公営事業4	会計名	駐車場事業特別	介護保険特別会計		
3-096	13	公営事業4	実質収支額	0	103,142		
3-097	14	公営事業5	事業区分	0	⑦		
3-098	15	公営事業5	会計名		駐車場事業特別会計		
3-099	16	公営事業5	実質収支額		0		
3-100	17	公営事業6	事業区分	0	0		
3-101	18	公営事業6	会計名				
3-102	19	公営事業6	実質収支額				
3-103	20	公営事業7	事業区分	0	0		
3-104	21	公営事業7	会計名				
3-105	22	公営事業7	実質収支額				
3-106	23	公営事業8	事業区分	0	0		
3-107	24	公営事業8	会計名				
3-108	25	公営事業8	実質収支額				
3-109	26	公営事業9	事業区分	0	0		
3-110	27	公営事業9	会計名				
3-111	28	公営事業9	実質収支額				
3-112	29	公営事業10	事業区分	0	0		
3-113	30	公営事業10	会計名				
3-114	31	公営事業10	実質収支額				
3-115	32	公営事業11	事業区分	0	0		
3-116	33	公営事業11	会計名				
3-117	34	公営事業11	実質収支額				
3-118	35	公営事業12	事業区分	0	0		
3-119	36	公営事業12	会計名				
3-120	37	公営事業12	実質収支額				
3-121	38	公営事業13	事業区分	0	0		
3-122	39	公営事業13	会計名				
3-123	40	公営事業13	実質収支額				
3-124	41	法適1	会計名	水道事業会計	水道事業会計		
3-125	42	法適1	資金不足・剰余額	1,022,207	670,655		
3-126	43	法適2	会計名	0	0		
3-127	44	法適2	資金不足・剰余額	0	0		
3-128	45	法適3	会計名	0	0		
3-129	46	法適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-130	47	法適4	会計名	0	0		
3-131	48	法適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-132	49	法適5	会計名	0	0		
3-133	50	法適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-134	51	法適6	会計名	0	0		
3-135	52	法適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-136	53	法適7	会計名	0	0		
3-137	54	法適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-138	55	法適8	会計名	0	0		
3-139	56	法適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-140	57	法適9	会計名	0	0		
3-141	58	法適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-142	59	法適10	会計名	0	0		
3-143	60	法適10	資金不足・剰余額	0	0		

3-144	61	法適11	会計名	0	0		
3-145	62	法適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-146	63	法適12	会計名	0	0		
3-147	64	法適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-148	65	法適13	会計名	0	0		
3-149	66	法適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-150	67	法適14	会計名	0	0		
3-151	68	法適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-152	69	法適15	会計名	0	0		
3-153	70	法適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-154	71	法適16	会計名	0	0		
3-155	72	法適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-156	73	法適17	会計名	0	0		
3-157	74	法適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-158	75	法適18	会計名	0	0		
3-159	76	法適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-160	77	法適19	会計名	0	0		
3-161	78	法適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-162	79	法非適1	会計名	公共下水道事業	公共下水道事業特別会計		
3-163	80	法非適1	資金不足・剰余額	1,894	123		
3-164	81	法非適2	会計名	公設地方卸売市	公設卸売市場特別会計		
3-165	82	法非適2	資金不足・剰余額	0	0		
3-166	83	法非適3	会計名	0	0		
3-167	84	法非適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-168	85	法非適4	会計名	0	0		
3-169	86	法非適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-170	87	法非適5	会計名	0	0		
3-171	88	法非適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-172	89	法非適6	会計名	0	0		
3-173	90	法非適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-174	91	法非適7	会計名	0	0		
3-175	92	法非適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-176	93	法非適8	会計名	0	0		
3-177	94	法非適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-178	95	法非適9	会計名	0	0		
3-179	96	法非適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-180	97	法非適10	会計名	0	0		
3-181	98	法非適10	資金不足・剰余額	0	0		
3-182	99	法非適11	会計名	0	0		
3-183	100	法非適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-184	101	法非適12	会計名	0	0		
3-185	102	法非適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-186	103	法非適13	会計名	0	0		
3-187	104	法非適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-188	105	法非適14	会計名	0	0		
3-189	106	法非適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-190	107	法非適15	会計名	0	0		
3-191	108	法非適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-192	109	法非適16	会計名	0	0		
3-193	110	法非適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-194	111	法非適17	会計名	0	0		

3-195		112	法非適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-196		113	法非適18	会計名	0	0		
3-197		114	法非適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-198		115	法非適19	会計名	0	0		
3-199		116	法非適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-200		A	連結黒字赤字額	合計(1~116)	2,410,134	1,559,458		
4-201	実質公債費比率*	四捨五入	(3カ年平均)	11.14766	10.68903			
4-202	実質公債費比率(総務省)	切捨て	(3カ年平均)	11.1	10.6			
4-203	実質公債費比率1*	四捨五入	(前々年度分)	13.49746	9.96993			
4-204	実質公債費比率2*	四捨五入	(前年度分)	9.96993	9.97553			
4-205	実質公債費比率3*	四捨五入	(本年度分)	9.97557	12.12163			
4-206	補正単年度実質公債費比率*		(本年度分)	10.55505	12.74618			
4-207	実質公債費負担額1	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑱)	(前々年度分)	2,623,474	1,932,405			
4-208	実質公債費負担額2	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑱)	(前年度分)	1,932,405	1,914,363			
4-209	実質公債費負担額3	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑱)	(本年度分)	1,914,371	2,324,560			
4-210	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(前々年度分)	21,927,972	21,913,636			
4-211	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(前々年度分)	20,676,687	20,808,107			
4-212	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(前々年度分)	1,251,285	1,105,529			
4-213	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑱	(前々年度分)	2,491,181	2,531,302			
4-214	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(前年度分)	21,913,636	21,772,892			
4-215	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(前年度分)	20,808,107	20,769,681			
4-216	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(前年度分)	1,105,529	1,003,211			
4-217	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑱	(前年度分)	2,531,302	2,582,303			
4-218	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(本年度分)	21,772,892	21,894,783			
4-219	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(本年度分)	20,769,681	20,955,125			
4-220	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(本年度分)	1,003,211	939,658			
4-221	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑱	(本年度分)	2,582,303	2,717,821			
4-222	前々年度分の実質公債費比率の算定に用いた、実質公債費負担額等の算出に係る基礎数値	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	(前々年度分)	2,205,884	2,072,131			
4-223		② 積立不足額を考慮して算定した額	(前々年度分)					
4-224		③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還額	(前々年度分)	0	0			
4-225		④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債の発行額	(前々年度分)	1,520,174	1,449,693			
4-226		⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた額	(前々年度分)	528,768	533,439			
4-227		⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	859,829	408,444			
4-228		⑦ 一時借入金の利子	(前々年度分)	0	0			
4-229		⑧ 特定財源の額	(前々年度分)					
4-230		⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	566,861	534,114			
4-231		⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	89,558	80,231			
4-232		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額	(前々年度分)	670,905	773,728			
4-233		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元金)	(前々年度分)	802,913	791,589			
4-234		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	0	0			
4-235		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	360,944	351,640			
4-236		⑮ 標準税収入額等	(前々年度分)	17,778,732	18,100,131			
4-237		⑯ 普通交付税額	(前々年度分)	2,897,955	2,707,976			
4-238		⑰ 臨時財政対策債発行可能額	(前々年度分)	1,251,285	1,105,529			
4-239		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方債	(前々年度分)	0	0			
4-240		⑥の内訳	PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	0	0		
4-241			いわゆる五省協定等により、利	(前々年度分)	0	0		
4-242			国営土地改良事業並びに独立	(前々年度分)	0	0		
4-243			地方公務員等共済組合が建設	(前々年度分)	0	0		
4-244			社会福祉法人が施設の建設の	(前々年度分)	0	0		
4-245			損失補償又は保証に係る債務	(前々年度分)	0	0		

4-246		地方公共団体以外の者の債務	(前々年度分)	0		
4-247		その他これらに準ずると認めら	(前々年度分)	840,385	382,666	
4-248		利子補給に係るもの	(前々年度分)	19,444	25,778	
4-249	前年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	(前年度分)	2,072,131	2,200,479	
4-250	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額	(前年度分)			
4-251	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償	(前年度分)	0	0	
4-252	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債	(前年度分)	1,449,693	1,247,972	
4-253	礎数値 前年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた	(前年度分)	533,439	521,689	
4-254	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(前年度分)	408,444	526,526	
4-255	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子	(前年度分)	0	0	
4-256	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額	(前年度分)			
4-257	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され	(前年度分)	534,114	510,296	
4-258	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され	(前年度分)	80,231	68,151	
4-259		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額	(前年度分)	773,728	960,314	
4-260		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元	(前年度分)	791,589	693,698	
4-261		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され	(前年度分)	0	0	
4-262		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され	(前年度分)	351,640	349,844	
4-263		⑮ 標準税収入額等	(前年度分)	18,100,131	18,839,319	
4-264		⑯ 普通交付税額	(前年度分)	2,707,976	1,930,362	
4-265		⑰ 臨時財政対策債発行可能額	(前年度分)	1,105,529	1,003,211	
4-266		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方	(前年度分)	0	0	
4-267		⑥の内訳				
4-268		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(前年度分)	0	0	
4-269		いわゆる五省協定等により、利	(前年度分)	0	0	
4-270		国営土地改良事業並びに独立	(前年度分)	0	0	
4-271		地方公務員等共済組合が建設	(前年度分)	0	0	
4-272		社会福祉法人が施設の建設の	(前年度分)	0	0	
4-273		損失補償又は保証に係る債務	(前年度分)	0	0	
4-274		地方公共団体以外の者の債務	(前年度分)	0	0	
4-275		その他これらに準ずると認めら	(前年度分)	382,666	485,797	
4-276		利子補給に係るもの	(前年度分)	25,778	40,729	
4-276	本年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	(本年度分)	2,200,487	1,147,415	
4-277	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額	(本年度分)			
4-278	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償	(本年度分)	0	10,000	
4-279	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債	(本年度分)	1,247,972	1,253,770	
4-280	礎数値 本年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた	(本年度分)	521,689	434,735	
4-281	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(本年度分)	526,526	2,195,719	
4-282	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子	(本年度分)	0	742	
4-283	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額	(本年度分)			
4-284	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され	(本年度分)	510,296	480,225	
4-285	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され	(本年度分)	68,151	58,119	
4-286		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額	(本年度分)	960,314	1,079,195	
4-287		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元	(本年度分)	693,698	766,790	
4-288		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され	(本年度分)	0	0	
4-289		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され	(本年度分)	349,844	333,492	
4-290		⑮ 標準税収入額等	(本年度分)	18,839,319	19,222,442	
4-291		⑯ 普通交付税額	(本年度分)	1,930,362	1,732,683	
4-292		⑰ 臨時財政対策債発行可能額	(本年度分)	1,003,211	939,658	
4-293		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方	(本年度分)	0	0	
4-294		⑥の内訳				
4-295		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(本年度分)	0	1,142,673	
4-296		いわゆる五省協定等により、利	(本年度分)	0	0	
4-296		国営土地改良事業並びに独立	(本年度分)	0	0	

4-297		地方公務員等共済組合が建設	(本年度分)	0	0			
4-298		社会福祉法人が施設の建設の	(本年度分)	0	0			
4-299		損失補償又は保証に係る債務	(本年度分)		0			
4-300		地方公共団体以外の者の債務	(本年度分)		0			
4-301		その他これらに準ずると認めら	(本年度分)	485,797	1,018,065			
4-302		利子補給に係るもの	(本年度分)	40,729	34,981			
将来負担比率	5-303	将来負担比率*	早期健全化基準(市町村350%政令市400%)	四捨五入	172.792	125.670		
	5-304	将来負担比率(総務省)		切捨て	172.7	125.6		
	5-305	補正将来負担比率*		四捨五入	182.323	132.145		
	5-306	修正将来負担比率*(連結実質黒字額を黒字要素として算定)		四捨五入	160.233	117.538		
	5-307	補正修正将来負担比率*		四捨五入	169.071	123.594		
	5-308	将来負担額	A	(本年度分)	71,100,974	68,281,615		
	5-309	充当可能財源等	B	(本年度分)	45,827,921	44,181,869		
	5-310	将来負担額(将来負担額から充当可能)	A-B	(本年度分)	25,273,053	24,099,746		
	5-311	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=E+F	(本年度分)	21,772,892	21,894,783		
	5-312	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	E	(本年度分)	20,769,681	20,955,125		
	5-313	臨時財政対策債発行可能額	F	(本年度分)	1,003,211	939,658		
	5-314	元利償還等に係る基準財政需要額算	D(=実質公債費比率の⑨~⑭・⑰)	(本年度分)	2,582,303	2,717,821		
	5-315	標準財政規模から元利償還等に係る	C-D	(本年度分)	19,190,589	19,176,962		
	5-316	将来負担比率の算定	将来負担額	地方債の現在高	26,580,480	26,865,267		
	5-317	に用いた、将来負担	債務負担行為に基づく支出予定額		10,793,937	8,940,432		
	5-318	額等の算出に係る基	公営企業債等繰入見込額		16,632,198	15,007,204		
	5-319	礎数値	将来負担	組合等負担等見込額	6,345,654	6,198,641		
	5-320	比率=[A-B]/[C-D]		退職手当負担見込額	10,700,957	11,212,892		
	5-321	*100		設立法人の負債額等負担見込額	計	47,748	57,179	
	5-322			地方道路公社	0	0		
	5-323			土地開発公社	0	0		
	5-324			第三セクター等	47,748	57,179		
	5-325			連結実質赤字額	0	0		
	5-326			組合等連結実質赤字額負担見込額	0	0		
	5-327		充当可能財源	充当可能基金	3,784,670	3,415,340		
	5-328		等	充当可能特定歳入	計	9,477,609	8,906,712	
	5-329				うち都市計画税	9,435,971	8,601,154	
	5-330			基準財政需要額算入見込額	32,565,642	31,859,817		
	5-331		A	将来負担額	合計	71,100,974	68,281,615	
	5-332		B	充当可能財源等	合計	45,827,921	44,181,869	
	5-333		A-B	将来負担比率算定の分子の額	合計	25,273,053	24,099,746	
	5-334		D	算入公債費等の額	合計	2,582,303	2,717,821	
	5-335		C-D	将来負担比率算定の分母の額	合計	19,190,589	19,176,962	
	参考比率	6-336		実質黒字比率(+)又は実質赤字比率(-)		5.95	3.53	
		6-337	財政統計研究所*	連結実質黒字比率(+)又は連結実質赤字比率(-)		11.06	7.12	
6-338		(切捨処理後の比率)	実質公債費比率(3ヵ年平均)		11.1	10.6		
6-339			将来負担比率		172.7	125.6		
6-340			実質赤字比率	-	-			
6-341		総務省公表比率	連結実質赤字比率	-	-			
6-342			実質公債費比率(3ヵ年平均)		11.1	10.6		
6-343			将来負担比率		172.7	125.6		
6-344		参考比率分母(1)*	実質黒字額又は赤字額/歳入総額		3.88	2.24		
6-345		⇒歳入総額	連結実質黒字額又は赤字額/歳入総額		7.22	4.52		
6-346		実質公債費負担額/歳入総額		5.73	6.73			
6-347		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入総額		75.66	69.81			

6-348	参考比率分母(2)*	実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	4.98	3.04		
6-349	⇒ 歳入一般財源等	連結実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	9.25	6.11		
6-350		実質公債費負担額/歳入一般財源等	7.35	9.11		
6-351		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入一般財源等	97.03	94.46		
6-352	参考比率分母(3)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	7.87	4.65		
6-353	⇒ 基準財政需要額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	14.63	9.37		
6-354		実質公債費負担額/基準財政需要額	11.62	13.96		
6-355		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政需要額	153.45	144.73		
6-356	参考比率分母(4)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	8.93	5.21		
6-357	⇒ 基準財政収入額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	16.61	10.50		
6-358		実質公債費負担額/基準財政収入額	13.19	15.64		
6-359		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政収入額	174.15	162.19		
6-360	参考比率分母(5)*	実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	10.32	6.12		
6-361	⇒ 住民基本台帳人口	連結実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	19.20	12.31		
6-362		実質公債費負担額/住民基本台帳人口	15.25	18.35		
6-363		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/住民基本台帳人口	201.29	190.27		
6-364	健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額	1,295,823	774,791		
6-365		連結実質黒字額又は赤字額	2,410,134	1,559,458		
6-366		実質公債費負担額	1,914,371	2,324,560		
6-367		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)	25,273,053	24,099,746		
6-368	参考比率分母	(1)歳入総額	33,401,468	34,523,535		
6-369		(2)歳入一般財源等	26,046,011	25,512,886		
6-370		(3)基準財政需要額	16,470,417	16,651,298		
6-371		(4)基準財政収入額	14,511,887	14,858,978		
6-372		(5)住民基本台帳人口(2012(H24)年度より外国人人口を含む)	125,556	126,663		
対前年増減	7-373 実質赤字比率	実質黒字比率又は実質赤字比率		-2.41		
	7-374 対前年増減*	補正実質黒字比率又は補正実質赤字比率		-2.54		
	7-375	早期健全化基準		0.01		
	7-376 (参考)公営比率	公営会計連結黒字比率又は公営会計連結赤字比率		-1.53		
	7-377 対前年増減*	補正公営会計連結黒字比率又は補正公営会計連結赤字比率		-1.62		
	7-378 連結実質赤字比率	連結実質黒字比率又は連結実質赤字比率		-3.95		
	7-379 対前年増減*	補正連結実質黒字比率又は補正連結実質赤字比率		-4.16		
	7-380	早期健全化基準		0.01		
	7-381 実質公債費比率	実質公債費比率(3年平均)		-0.46		
	7-382 対前年増減*	単年度実質公債費比率		2.12		
	7-383	補正単年度実質公債費比率		2.19		
	7-384 将来負担比率	将来負担比率		-47.12		
	7-385 対前年増減*	補正将来負担比率		-50.18		
	7-386	修正将来負担比		-42.69		
	7-387	補正修正将来負担比率		-45.48		
	7-388 健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額		-521,032		
	7-389 対前年増減*	連結実質黒字額又は赤字額		-850,676		
	7-390	実質公債費負担額		410,189		
	7-391	将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)		-1,173,307		
	7-392 健全化比率分母	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)		121,891		
	7-393 対前年増減*	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を除く)		185,444		
	7-394	臨時財政対策債発行可能額		-63,553		
	7-395 参考比率分母	歳入総額		1,122,067		
	7-396 対前年増減*	歳入一般財源等		-533,125		
	7-397	基準財政需要額		180,881		
	7-398	基準財政収入額		347,091		

団体指定・健全化比率DB

木更津市・2007年～2012年・連結会計決算

サンプル・一部表示 / 財政統計研究所

財政統計資料館
<http://zaisei.net/>